

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第152号 2024年10月15日

敬老祝賀の集い

第1部：9月12日 敬老お祝膳 “お寿司食べ放題 + 貴方の選ぶ特別な一貫” の提供



敬老祝賀の集い

【会食の部】
2024年9月12日(木)
正午より

敬老お祝い膳

【式典の部】
2024年9月15日(日)
午後2時より 式典・お楽しみ

レジデンシャル常盤台



第2部：9月15日 式典の部 百寿を迎えた方々

田中穂積様 大正 13年生まれ

桂歌世子様

村尾栄子様



ご利用者全員へ小物入れとレッグウォーマーをお祝いの言葉を添えプレゼント

第3部： 眼で綴る思い出の昭和



Only One

2番街 田中穂積さまの Only One

父が生き抜いた時代とは…

—父 田中穂積の日記より 長男 田中孝司（纏）—

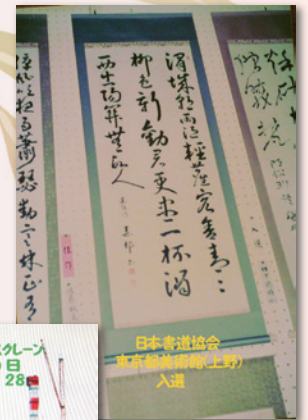
関東大震災の翌年、大正 13 年、三重県三重郡楠町の酒屋の四男として出生。旧制中学に進学するが太平洋戦争が勃発、繰り上げ卒業となり造船会社に入社。昭和 20 年 1 月末に召集令状が届き入隊、終戦を迎え、就職先の造船会社に戻った。昭和 24 年結婚、仕事の関係と、二人のこども達の成長に合わせて、2 度の転居を経て神奈川区片倉町に落ちついたのは昭和 59 年。

会社務めの時はゴルフに夢中になっていたが退職と共にきっぱりと辞め、自由になった時間で書道、表装、写真等の趣味を満喫。夫婦でドライブや国の内外への旅行を楽しむ等、順調に年を重ねてきた。妻が 80 歳頃から認知症に。妻に寄り添って介護も経験したが中々思うようにいかなかった……。

妻亡き後、ひとり暮らしとなったが自分ができる事は自分で、との思いで庭木の剪定中にケガをしてから足腰が弱ってきたように思う。

戦中、戦後の動乱を生き抜き、わが国の高度経済成長を支え、家族第一主義を貫いて 100 歳を迎えた今、目や耳がやや不自由になり、パソコンや文字を書くことも思うように出来なくなりつつあるが、来し方行く末を想いながらゆったりと過ごしたい思う今日この頃である。

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します！



編集後記

秋風が肌に心地よい季節となりました。爽やかな秋を満喫されますように。